

ま ち の 話 題

豊 岡

驚き、感動の二瞬を パチリ!!

4月27日から5月23日まで、コウノトリ文化館で、2009コウノトリ写真コンクール入賞作品展(コウノトリファンクラブ主催)が開催されました。

作品には、巣立ちしたヒナが上手に虫を捕まえた瞬間や遊び戯れる幼鳥3羽の姿、吹雪の中を悠然と舞うコウノトリなど、貴重な光景が写し出されています。

本市出身の大和 豊さん(大阪府豊中市在住)は、田んぼのコウノトリと笑顔の少女が収まった作品を見ながら、「私が小学生の時も、身近な田んぼでコウノトリを見たことがあった」と、懐かしそうに話していました。



▲人里に暮らすコウノトリのさまざまな姿を熱心に鑑賞

城 崎

新緑ハイキング

ゆったりとしたすがすがしい 時間を過ごしました!

4月29日、城崎町湯島の大師山ハイキングコースで、新緑ハイキングが開催されました。参加した約50人は、澄んだ空気に包まれながら山道を進みました。中でも、小中学生は、道中で拾う「ママ石(石英粗面岩)」の数を競ったり、食用の山野草に興味を持つなど、自然の中での楽しみも見つけたようでした。

母親と共に参加した最年少の岩本 真君(城崎小1年)は「歩くのは思ったより大変だったけど、山の中は楽しいことがいっぱい」と話しました。

新緑豊かな山道は、参加者に身も心も晴れ晴れとした時間を与えていました。



▲ハイキング途中で、新しい自然を発見!

竹 野

親子でパーカッション さまざまな道具を使って演奏!

4月27日、竹野健康福祉センターで「親子でパーカッション」を開催し、約20人の親子が参加しました。

参加者は、ボランティアの方のピアノを伴奏に、家から持参したボウルやおたま、鍋、しゃもじといった台所用品や空のペットボトルなどの音の出る道具を使って、「犬のおまわりさん」などを全員で演奏しました。

タンバリンなどの楽器がなくても、家の中にあるものを利用し、演奏ができるので、参加した子どもたちも楽しみながら、当日の曇り空を吹き飛ばすぐらい元気に演奏していました。



▲家から持ってきた道具を使って楽しく演奏する参加者たち

日高

植村直己冒険館ナイトミュージアム
夜の冒険館で

植村直己の精神を学び体感する!!

5月2日・3日の2日間、植村直己冒険館でナイトミュージアムを初めて開催し、来館者は昼間とは一味違った夜の冒険館を堪能しました。

また、初日は、冒険館の中庭でテント泊体験も実施し、親子5組(15人)が一晩だけの小さな冒険にチャレンジしました。

参加者は、まず1人用テントを組み立て、冒険食を作って食べたり、館内の見学や映像鑑賞、50問クイズにチャレンジしたりして過ごしました。参加者の平尾 愛さん(小野小4年)は「1人でテントで寝るのは初めて。とても楽しい」と笑顔で話しました。



▲植村直己冒険館の中庭に1人用テントを張る参加者たち。1人で寝られるかな?

出石

幟のぼりまわし

すくすく育て!

家族の願いを託す

5月5日、出石町宮内みやうちで、幟のぼりまわしが行われました。

これは、但馬を開拓した天日槍命あめひぼりのみことが瀬戸を切り開き、出石への帰途の様子を再現したとされる伝統行事です。和装した地元おきなの男子中学生たちが、竹ぼらを吹き、囃子歌はやしうたを歌いながら5本の幟を立て、小刻みに回ります。これを区内の決められた場所ところで繰り返し行い、加えて、この1年間に生まれた男児の家を訪問し、初節句を祝いました。

その後、出石神社で行われたもちまきには、約150人の人々が集まり、にぎわいを見せしていました。



▲子どもたちの健やかな成長を願って…!

但東

第1回モンゴル博物館フェスティバル
音楽は世界の「共通語」!

4月25日、日本・モンゴル民族博物館(但東町中山)で、第1回モンゴル博物館フェスティバルを開催し、約150人が来場しました。このイベントは、地域の歴史や文化などを学びながら、世界の音楽を通じて交流の輪を広げるもので、地域の魅力再発見に取り組む団体「芦屋Tioティオ」と協働で実施しました。

来場者は、南米の民族音楽・フォルクローレや中国の弦楽器・二胡の演奏のほか、但東町の民話朗読など、楽しい一日を過ごしました。芦屋Tioの西本佳子よしこさんは「この地域でないとできないことがある。地域の方々と一緒に元気を発信したい」と話していました。



▲フォルクローレを演奏するロス・チャンカスの素敵な音色に酔いしれる来場者たち